

守ろう・造ろう・たいせつな立山の渓流
イワナ的人工産卵実験床を造成しました。

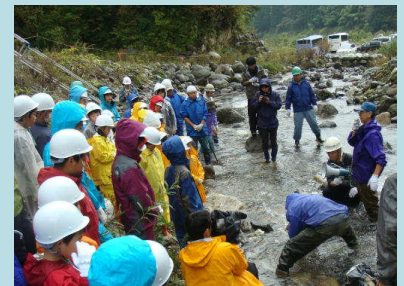
平成21年10月20日（火）

立山砂防事務所では、自然環境と調和した砂防事業を進めています。環境配慮の取り組みの一環として、10月20日に常願寺川への流入支川において人工産卵実験床の造成を行いました。当日は時折雨が降るあいにくの天候でしたが、富山県立大学の高橋准教授の御指導のもと、常願寺川水辺の楽校人・川ふれあい連絡会、立山芦峯小学校、小見小学校外約60名の手により、全15ヶ所の人工産卵実験床を造成しました。



造成箇所（全景）

イワナの特性、造成作業の手順等について、高橋先生により、大人から子供まで熱心にご指導をいただきました。



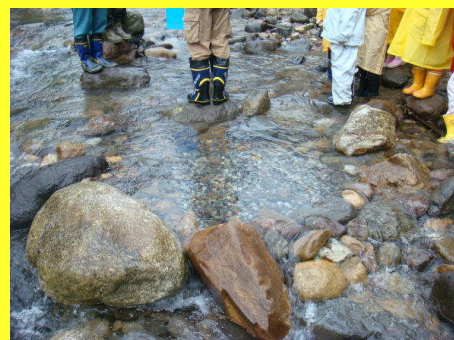
作業風景

参加者全員、一生懸命取り組みました。

みんなで協働作業。産卵に期待！



最後はみんなで記念撮影



完成した人工産卵実験床

イワナの産卵期は11月中旬頃。今後は、地元みなさんと共に、産卵状況を見守っていきたいと思います。

